

中津市歴史博物館テーマ展示「戦争の記憶」

担当：歴史博物館 山田（電話0979-23-8615）

昭和20年8月15日に終戦を迎え、今年で81回目の終戦日となります。戦争を知る世代も減り、戦中の暮らしを伝えていくのも難しくなっている今、中津市歴史博物館では「戦争の記憶」を後世に伝えるため、市民の方々から寄贈・寄託いただいた戦争に関連する資料を用いて、戦争に関する展示をおこないます。

本テーマ展では、中津の町や学校、家庭にまつわる資料を展示し、戦争がどのようにして人々の生活に影響をもたらしていったのかをたどります。展示品の一つである津民小学校に残されていた戦中の学校日誌は、昨年度発見されたばかりの資料であり、当時の緊迫した様子を現代へ伝える貴重な資料です。

人々がどのように戦争と向き合い、どのように暮らしていたのか、「戦争の記憶」をたどり、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考えるきっかけとしていただきたいと思います。

➤ 展覧会情報

会期：令和8年7月11日（土）～9月13日（日）

会場：中津市歴史博物館 展示室

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

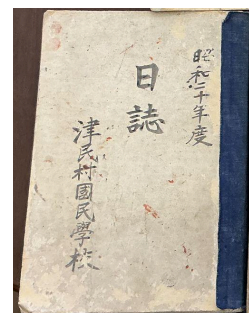
休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

観覧料：一般300円、団体100円（20人以上）、中学生以下無料、障がい者割引有

➤ 主な展示品

1. 『昭和二十年度 日誌』津民村国民学校

津民小学校に残されていた学校日誌。空襲警報発令の記録や、終戦前日・当日の記録など、戦中の様子が克明に記録されている。



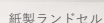
2. 紙製ランドセル

物資が不足する中で、革の代用品として紙を使用して作られたランドセル。豊田小学校の生徒が使用していた。



令和8年 7月11日(土) ▶ 9月13日(日)

戦争の記憶



〒871-0057
大分県中津市1290番地(三ノ丁)
Tel 0979-23-8615 / Fax 0979-23-8616
<https://nakahaku.jp>

